

令和元年（平成31年度） 第1回四日市市立図書館協議会会議要録

1. 日 時 令和元年7月1日(月) 午後3時00分～午後4時30分
2. 場 所 四日市市立図書館 3階 会議室
3. 出席者 岡田博子委員、海戸田恵一委員、竹下すま子委員、
中井孝幸委員、花井弥生委員、福永智子委員、藤田一樹委員
松井真理子委員、渡部通廣委員
(五十音順)
図書館：大森陽司館長、村林知可子副館長兼管理係長、
水谷園子奉仕係長、中村成孝奉仕係主幹
4. 欠席者 なし
5. 傍聴者 1人
6. 議事録概要

1. はじめに

2. 会長・副会長選出

3. 議題

- (1) 平成30年度図書館事業報告等について
- (2) 令和元年度（平成31年度）図書館事業計画等について
- (3) 図書館利用に障害のある方へのサービスについて
- (4) その他

4. 終わりに

1. はじめに

【館長挨拶（任命状交付）】

（事務局）当協議会は、図書館法第14条に基づき、図書館長の諮問意見機関とする法定協議会であり、四日市市立図書館協議会条例に基づき設置される。各委員の皆様には、四日市市教育委員会より任命状が発せられているので、館長からお渡しする。

2. 会長・副会長選出

図書館協議会条例第4条において、会長・副会長は委員の互選となっているところ、事務局案として会長に松井委員、副会長に福永委員をそれぞれ推薦。異議なく承認され、就任した。

図書館協議会条例第5条により、松井会長が議長となり、議事を進める。

【出席者確認・会議成立確認】 定数9名、全員出席。

【傍聴者確認】 1名。

【非公開範囲の決定】 適宜、諮るものとされた。

3. 議題

(1) 平成30年度図書館事業報告について

(図書館説明)

委員：水道の蛇口の展示は面白くて、とてもよかった。新聞に企画展示が掲載されたのでめずらしいと思った。

図書館：水道局の水道週間にあわせて、5月18日から6月2日まで変わった蛇口を展示してもらった。かなり、好評で多くの方に来てもらえた。児童室の手洗い場にピノキオの蛇口を取り付けてもらい、そのまま譲ってもらえた。新聞に掲載されたことによる効果は大きかった。

委員：男のよみきかせや絵本ライブなど男性による読み聞かせの催しが増えているのは良いことだと思う。併せて、参加者も増えているのは良いのではと思う。

図書館：昨年度の男のよみきかせでは、参加者が鬼の姿をしてお読み聞かせるなど、かなり凝った演出での読み聞かせをしてもらった。今年度についても、男子中学生の応募があり、事前に新聞に掲載されたことから、83名の多くの方に来場してもらえた。男子中学生は物怖じせず、マジックも披露してもらったなど大好評に終わった。

委員：図書館に人が集まって来てもらうのは良いことだと思う。

→平成30年度図書館事業報告について、異議なく、承認された。

(2) 令和元年度図書館事業計画について

(図書館説明)

委員：今後の事業について、基本的にはこのままでいいと思うが、子ども向け、子どものいる家族向けの企画が多いように思われる。日頃、お仕事をしている大人の方、独身の方、子どものいない夫婦の方が、本を読みたいと思ったとき特定の何かについてではなく、自分の人生について考えたいとき、例えば仕事に役立つ哲学などについての講演とか展示の企画があれば、大人の来館者が増えるのではないかな。

今はやりのカフェで父親が新聞雑誌を見て、その間に子どもだけが図書館にいるのではなく、本で大人を呼ぶ仕掛けがあると良いのではないかなと思う。

図書館：ご意見とずれるかもしれないが、来年度は旅行、鉄道に関する活動をしている方を講師にお迎えして、時刻表で旅行の行程を作成するなど大人向けの企画を考えている。

委員：「三重の城を知る」は大変面白い。多くの方が来館されるのではないかな。講座開催に伴ってのテーマ展示は考えているか。

図書館：今のところ具体的には決めていない。今後、何か良い方法があるか考えていきたい。

委員：全国図書館大会三重大会の分科会には、四日市市の方は積極的に参加さ

れるのか。

図書館：参加していく。

委員：図書館大会の参加できる人の制限はあるのか。

図書館：誰でも参加可能であるが、参加費は必要で、県内の方は5千円、県外の方は7千円かかる。

委員：個人で申し込めば良いのか。

図書館：今後、申込書やチラシが配付されることになると思う。

→令和元年度図書館事業計画について、異議なく、承認された。

（３）図書館利用に障害のある方へのサービスについて

（図書館説明）令和元年7月1日から施行の四日市市立図書館視覚障害等サービス実施要綱について説明

委員：3点確認させてほしい。「四日市市立図書館視覚障害者等サービス実施要綱」の第4条2項にある利用者について「その他館長が必要と認めた者」とは「視覚障害者等サービス利用登録確認項目リスト」でチェックして認められた方ということで良いのか。次に第9条のデータの提供方法について、国会で制定された読書バリアフリー法が制定されてそれを受けてのことで、大変良い改正案と思っているが、データの提供の方法と、入手して返却する方法のイメージを教えて欲しい。3点目は啓発方法について、今日から施行ということだが、どのようにされるか、社会福祉協議会で手伝えることがあるか教えて欲しい。

図書館：利用者については、委員の認識のとおりである。2点目の配信サービスについては運用を今後詳細に詰めていく。3点目については、ホームページでの掲載等を考えているが、今後お願いしたい件があれば、いろいろご相談させていただきたい。

委員：「視覚障害者等サービス利用登録確認項目リスト」のチェックリストの項目内容が必要以上に個人情報を集めている点や、判断基準があいまいでわかりにくくなっているように思われる点についてはいかがなものか。

図書館：日本図書館協会では例として掲載されていた様式なので、運用について、今後、実務を進めていく中で、四日市市仕様としてもっと詰めていきたい。

（４）その他 中心市街地拠点施設整備計画における新図書館のこれまでの経緯について

（図書館説明）

委員：図書館の機能としてかなり盛り込んだ計画になっており、市民としてはありがたいが、他の施設、文化会館などでも出来る機能まであるように思われる。バックヤードとして、私自身が図書館でボランティア活動を行っているが、ボランティアが活動できるスペースはあるのか。

図書館：計画のなかに設定している。

委員：秋に候補地の報告があるのだろうか。

図書館：現時点では、中心市街地拠点施設における複合施設ということで政策推進課で場所の検討を行っている。調査については、委託して行っているが、秋頃に内容が固まり、議会に報告されることになるのではないかとと思われる。

委員：今、説明があった計画は市役所の東側で建設する場合の内容だが、場所が近鉄駅前やＪＲ駅前となるとまた計画が変更になり時期が益々遅れるのではないかと気になる。市役所の東側については、市有地であるので買収する必要はないが新しく土地を買収となると、予算額は増えないので図書館の面積が減るのではないかと少し心配。図書館の規模はどうなるのか。

図書館：図書館としては、新図書館は早く進めていきたい気持ちはある。規模等については、まだこちらにも話はもらっていない。場所や規模が変わると配置も変わって、イメージが変わる可能性がある。今後の動向に充分注意しながら、皆さんと相談しながら、情報共有させていただくつもりである。

委員：図書館が、市民にとって大切な場所であると発信できるのは市立図書館だけなので、どんどんそういうことを発信しながら良い建物になるようにして欲しい。大事なことは、職員がしっかりやってくれること、資料がしっかりあるということ。良い資料があるということが大切である。

また、いろんな市民の皆さんが利用出来ることは大事なので、しっかり発信して欲しい。蔵書をこれから倍にするのであれば、計画的に本を増やしていかないと、新図書館に移設の際、書架に空きスペースができるのではないかと。新図書館に向けて蔵書の充実が大切なので、図書館から強く資料購入の増額を要求して欲しい。

図書館：予算については、厳しいところもあるが、図書館の重要性を認識してもらい、予算獲得できるように努めていきたい。

議長：他になければ議題を終了としたい。

４．終わりに

(図書館) 第２回協議会を年内に開催させていただきたく、事前に各委員の予定をお聞きしたい。